

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 6 月 6 日現在

機関番号：34301

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2010～2011

課題番号：22820077

研究課題名（和文）タイ国中部地域の王室寺院が所蔵する東南アジア撰述仏教説話写本の研究

研究課題名（英文）A Study of the manuscripts of Buddhist narratives created in South-east Asia and currently kept in various royal temples in central Thailand

研究代表者

清水 洋平（SHIMIZU YOHEI）

大谷大学・文学部・非常勤講師

研究者番号：50387974

研究成果の概要（和文）：今まで調査が手薄であったタイ国中部地域の王室寺院が所蔵する貝葉写本について、従前の科研プロジェクトから継続的に調査を行い、第一級王室寺院をはじめとする 5ヶ寺の所蔵貝葉写本集成を軸とした約 1,700 套（一套の中に複数の文献が所収されることが多い）を超える写本文献の情報を取りまとめ、所在目録を作成した。加えて、まだ貝葉や折本紙写本でしか存在しない東南アジア撰述の仏教説話文献に関わるテキストの多くを、デジタル画像資料として入手することに成功した。これにより、現在まで殆ど実態が不明であったタイ国中部地域の王室寺院が所蔵する収蔵文献について、その特徴を明らかにした。

研究成果の概要（英文）：During my research period I surveyed the palm-leaf manuscripts kept in the royal temples in central Thailand that has been neglected until now. It is an extension of my previous research work. So far, I have collected information on 1,700 bundles of manuscripts mainly kept in the five temples including the first-class royal temples that are located in Bangkok and the surrounding area. I put together all the information of those manuscripts and made it available in the digital form. Apart from that, there exist a great number of texts related to the manuscripts on Buddhist narratives formed in Southeast Asia. These manuscripts are available only in the form of palm-leaf and Folding Books. During my research period I could take digital photos of those too. As a result of my research, the details of the palm-leaf manuscripts kept in the royal temples in central Thailand that was almost unidentified yet, has become known clearly.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2011年度	1,100,000	330,000	1,430,000
年度			
年度			
年度			
総計	2,300,000	690,000	2,990,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：印度哲学・仏教学

キーワード：貝葉写本、上座仏教、東南アジア仏教、タイ写本、データベース

1. 研究開始当初の背景

- (1) 現在、東南アジア大陸部で伝承されてきた東南アジア撰述の仏典写本は、一部の寺院の経蔵に無差別に保管されているものが多く、所在やその内容は不詳のものが多い。また、所蔵環境も良くないことから隠滅の危機に瀕しているものが多い。この状態を危惧する研究者並びに研究機関がその調査・収集、或いはカタログの作成に努力している。
- (2) このような現状を踏まえての従前の科研プロジェクト『パンニャーサ・ジャータカ』を中心とする東南アジア撰述仏教説話写本の研究(特別研究員奨励費)では、取り急ぐ課題として、タイ国中部地域に所在する寺院の収蔵写本につき、その第一次資料の整理、保存、カタログ作成のための情報を収集し、並びに東南アジア撰述の仏教説話に関わる文献についてのデジタル画像の収集に努めてきた。
- (3) これまでの現地調査などで得られた相互の信頼から、バンコク所在の第一級王室寺院などから更なる調査許可が出された。
- (4) タイ国の寺院が所蔵する写本の多くは、各寺院に秘蔵されており、見ることは勿論、写真撮影することが許可されることもなく、収集した文献の情報は大変貴重であり、学界にその存在を知らしめ研究を促す必要がある。

2. 研究の目的

タイ国中部地域の王室寺院に所蔵されているクメール文字で記された貝葉写本を中心に、同国に流布する東南アジア撰述の仏教説話写本の研究を行う。既に知己を得たタイ国の研究者や僧侶と協力して、同地域の王室寺院が所蔵する収蔵文献の特色を明らかにし、また、個々の写本研

究を遂行する。特に、本研究活動の中から、今後の仏教説話写本研究の基礎となる東南アジア撰述仏典写本のデータベース構築を第一義の目的とする。

3. 研究の方法

- (1) 本研究は、従前の科研プロジェクトを承けているため、そこで収集したタイ国中部地域の由緒ある王室寺院が所蔵する貝葉写本文献の情報を、Unicode を用いてコンピューターにデータ入力し、そのまま写本目録・データベースとして活用できるようにする。
- (2) バンコク所在の第一級王室寺院から所蔵写本の更なる調査要請を受けているため、調査を実施し、貴重な収蔵文献の情報を上記の所在目録・データベースに反映させる。そして、これらの作業により構築した所在目録・データベースをもとにして、現在まで実態が不明であったタイ国中部地域の王室寺院が所蔵する収蔵文献の全体像、並びにその特徴を明らかにする。
- (3) 作成した所在目録・データベースをもとに、仏教説話文献をより深く探究する手段として、その鍵となる「アーニサンサ」と呼ばれる一群の積徳行に関わる積義文献の文献学的研究をスタートさせる。

4. 研究成果

- (1) 調査を実施していたタイ国中部地域の王室寺院 Wat Ratchasittharam や Wat Yai Suwannaram が所蔵する貝葉写本集成について、収蔵文献の特徴などを取りまとめ、国内の学会や雑誌論文等で研究成果を発表した。
- (2) 調査許可を得ていたバンコク所在の第一級王室寺院 Wat Arun Ratchawararam など

の所蔵写本について、現地調査を実施した。同寺院に収蔵されていた約 160 套の貝葉写本集成の中には、タイ国内で現存している貝葉写本としては古いアユタヤ一時代後期（1600 年代）に筆写された貝葉写本や稀覯文献と考えられるものも多数所蔵されており、それらをデジタル画像資料として収集できたことは大きな成果であった。これにより、作成中の所在目録に貴重な文献情報が加わることになった。

- (3) タイ国中部地域の王室寺院が所蔵する貝葉写本について、同地域に所在する第一級王室寺院 Wat Mahathat Yuwaratransarit、Wat Arun Ratchawararam、第二級王室寺院 Wat Ratchasittharam、第三級王室寺院 Wat Yai Suwannaram、Wat Thepthidaram の所蔵貝葉写本集成を軸とする約 1,700 套（一套の中に複数の文献が所収されることが多い）を超える写本文献の情報について、それらすべてのデータ入力を終了し、所在目録を作成した。加えて、まだ貝葉や折本紙写本でしか存在しない東南アジア撰述の仏教説話文献に関わるテキストの多くを、デジタル画像資料（約 4 万枚）として入手することに成功した。これにより、現在まで殆ど実態が不明であったタイ国中部地域の王室寺院が所蔵する収蔵文献について、その特徴が明らかになったと共に、東南アジア撰述仏典について、文献学仏教学的な研究をスタートさせ得る素地が整えられたと考える。
- (4) 現在、東南アジア撰述の仏典研究に取り組む国内外の研究者、研究機関から情報の提供について多くの要請を受けている。この要請に的確に答えるには、文献タイトルのみに止まった現在の所在目録について、個々の文献の写本資料としての資

質の整理や、世に既出の所在目録との横断的な情報整理など、更なる改善の必要性を実感している。また、1 年半の研究期間では、現在までの調査で収集してきたデジタル画像資料を整理し、所在目録に反映させるところまではできず、「アーニサンサ」と呼ばれる一群の積徳行に関わる積義文献の文献学的研究をスタートさせることもできなかった。これらの課題については、今後、継続して取り組んでいきたい。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 6 件）

- ① 清水洋平、「Mahābodhivaṃsa 第 12 章「樹王来島物語」訳注」、『佛教研究』、第 40 号、265-289、2012 年 3 月、査読有。
- ② 清水洋平、「タイ国ワット・ラチャシッタラムの所蔵写本調査の実際」、『タイ国ワット・ラジャシッタラム寺院他所蔵写本に基づく蔵外仏典の研究』（2009 年度～2011 年度科学研究費補助金（基盤研究(C)）研究成果報告書：研究代表者 畝部俊也（名古屋大学大学院文学研究科准教授））、21-38、2012 年 3 月、査読無。
- ③ 畝部俊也・清水洋平、「三会寺所蔵パーリ語貝葉写本等調査報告」、『タイ国ワット・ラジャシッタラム寺院他所蔵写本に基づく蔵外仏典の研究』（2009 年度～2011 年度科学研究費補助金（基盤研究(C)）研究成果報告書：研究代表者 畝部俊也（名古屋大学大学院文学研究科准教授））、39-46（分担部分 39-40）、2012 年 3 月、査読無。
- ④ 清水洋平、「北タイ(ラーンナー王国)で作られた東南アジア独自の仏教説話“Paṭṭhamamūlamūli: (世界)始源の物語”」、

『真宗総合研究所研究紀要』、第 28 号、19-51、2011 年、査読有。

- ⑤ 清水洋平・舟橋智哉、「タイ王国ペップリー所在寺院ワット・ヤイ・スワンナーラームの経蔵調査」、『印度学仏教学研究』、第 59 卷 1 号、359(169)-364(174)、2010 年、査読有。
- ⑥ 清水洋平、「タイ王国 Wat Ratchasittharam 所蔵のクメール文字パーリ語貝葉写本について」、『佛教学セミナー』、第 91 号、41-54、2010 年、査読有。

[学会発表] (計 1 件)

- ① 清水洋平・舟橋智哉、「タイ王国ペップリー所在寺院ワット・ヤイ・スワンナーラームの経蔵調査」、日本印度学仏教学会第 61 回学術大会、2010 年 9 月 10 日、立正大学。

[図書] (計 1 件)

- ① SHIMIZU, Yohei (清水洋平), *Bodhi Tree Worship in Theravāda Buddhism*, Nagoya University Association of Indian and Buddhist Studies, 2010, vii+109.

[その他] (計 2 件)

- ① 清水洋平、「フランス極東学院 (École Française d'Extrême-Orient: EFEO) が所蔵するパーリ語写本の研究調査」、『大谷大学真宗総合研究所研究所報』、第 59 号、39-40、2011 年。
- ② 清水洋平、「タイ国第一級王室寺院ワット・マハータートユワラートランサリット所蔵貝葉写本の共同研究調査」、『大谷大学真宗総合研究所研究所報』、第 56 号、18-20、2010 年。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

清水 洋平 (SHIMIZU YOHEI)
大谷大学・文学部・非常勤講師
研究者番号：50387974

(2) 研究協力者

舟橋 智哉 (FUNAHASHI TOMOYA)
大谷大学大学院博士後期課程修了